

環境活動レポート

2023年度

〈2023年4月～2024年3月〉



柏プラネット

(柏市廃棄物処理業協業組合)

2024年6月1日

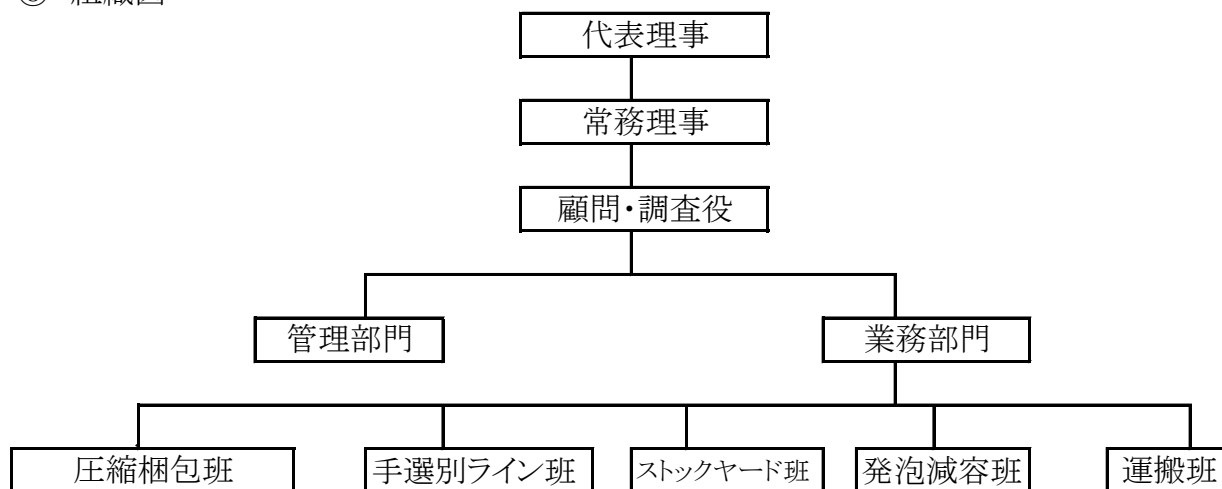
代表理事 鈴木 隆

■1 組織の概要

(1) 柏プラネットの概要

- ① 組織の名称 柏市廃棄物処理業協業組合
② 所在地 〒277-0804
柏市新十余二7番地8
電話 04-7133-4501
③ 創立 1995年3月
柏市一般廃棄物処理業協同組合設立認可
(千葉県知事:千葉県経指令第3号の13)・設立登記
柏市一般廃棄物処理業協同組合設立登記
④ 代表者 代表理事 鈴木 隆
⑤ 出資金(資本金) 300万円
⑥ 売上金 27.518万円(2023年4月～2024年3月)
⑦ 従業員 39人

⑧ 組織図



- ⑨ 敷地面積 7.480㎡
⑩ 工場面積 1.227㎡
⑪ 会社履歴 1995年 4月 協同組合事業開始
1999年 11月 組織変更認可(関東運輸局 関自振第4069号)
柏市一般廃棄物処理業協同組合 → 柏市廃棄物処理業協業組合
2001年 2月 新工場竣工移転
4月 圧縮梱包事業開始(柏市委託事業)
⑫ 事業の目的
・容器包装プラスチック類の圧縮保管事業、発泡スチロールの減容固件事業、ペットボトル梱包事業等の活動により、再資源化用の原料を製品化することを目的とする。
⑬ 事業の概要
・容器包装プラスチック類の選別・加工

(2) 許可の内容

① 一般廃棄物処理施設

- ・許可年月日 …… 2000年7月24日(第12-4号)
- ・事業の区分 …… ごみ処理施設(選別、圧縮、梱包施設)
- ・一般廃棄物の種類 …… 廃プラスチック

② 産業廃棄物収集運搬業

- ・許可の年月日 2020年6月9日(千葉県第01200068684号)
- ・許可の有効年月日 2025年4月9日(積替え保管なし)
- ・産業廃棄物の種類 …… 廃プラスチック類

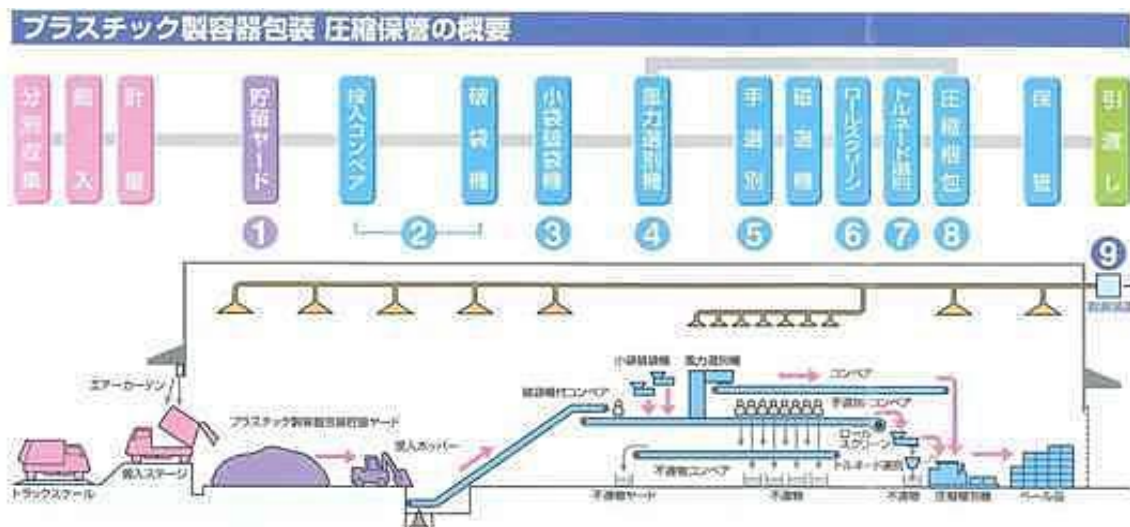
(3) 施設及び処理の状況

① 運搬車輛

- ・柏830-5301
車輛形式 : 塵芥車(パッカー)
最大積載量 : 1.55t
運搬品目 : 廃プラスチック類
環境保全対策: なし
- ・柏830-5302
車輛形式 : 塵芥車(パッカー)
最大積載量 : 1.55t
運搬品目 : 廃プラスチック類
環境保全対策: なし
- ・柏830-5303
車輛形式 : 塵芥車(パッカー)
最大積載量 : 5.70t
運搬品目 : 廃プラスチック類
環境保全対策: なし

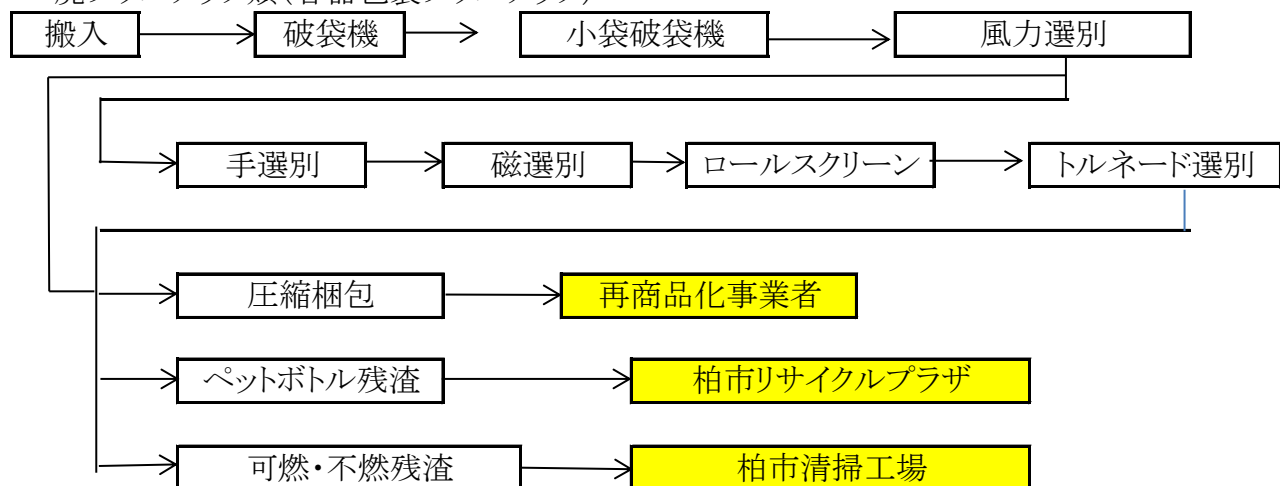
② 設備処理能力

- ・容器包装プラスチック類の選別、圧縮、梱包 32t/日
- ・発泡スチロール減容、固化 0.8t/日

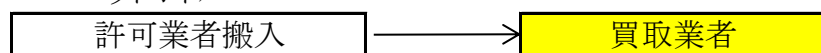


③ 事業所の処理工程図・最終処分までの処理工程(フロー)

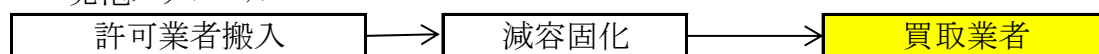
・廃プラスチック類(容器包装プラスチック)



・ペットボトル



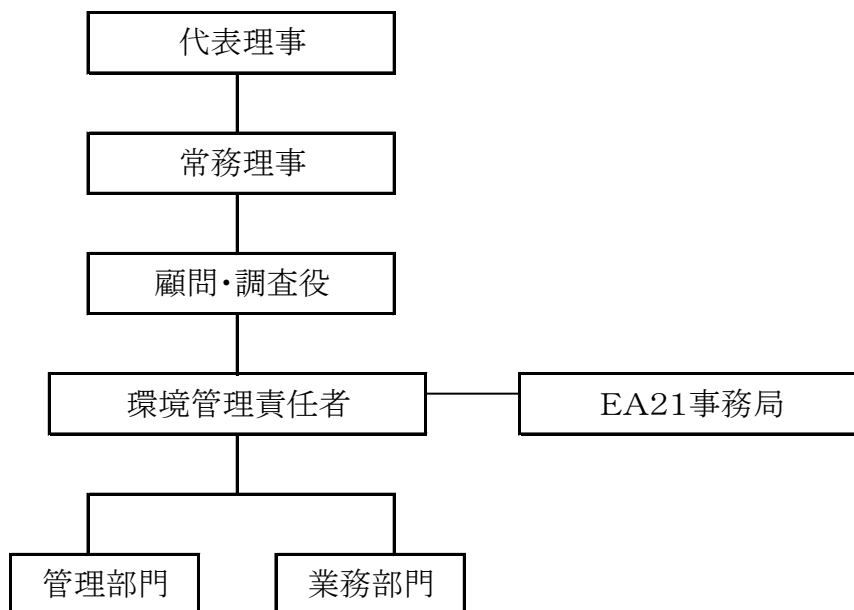
・発泡スチロール



■2 環境管理体制と認証・登録の対象範囲

(1) 環境管理体制

① 組織図



② 代表者

氏 名 代表理事 鈴木 隆

③ 環境管理責任者

氏 名 常務理事 小 貫 省 三
連絡先 〒277-0804 柏市新十余二7番地8
電話 04-7133-4501
FAX 04-7132-0255
E-mail ootake@k-planet.org

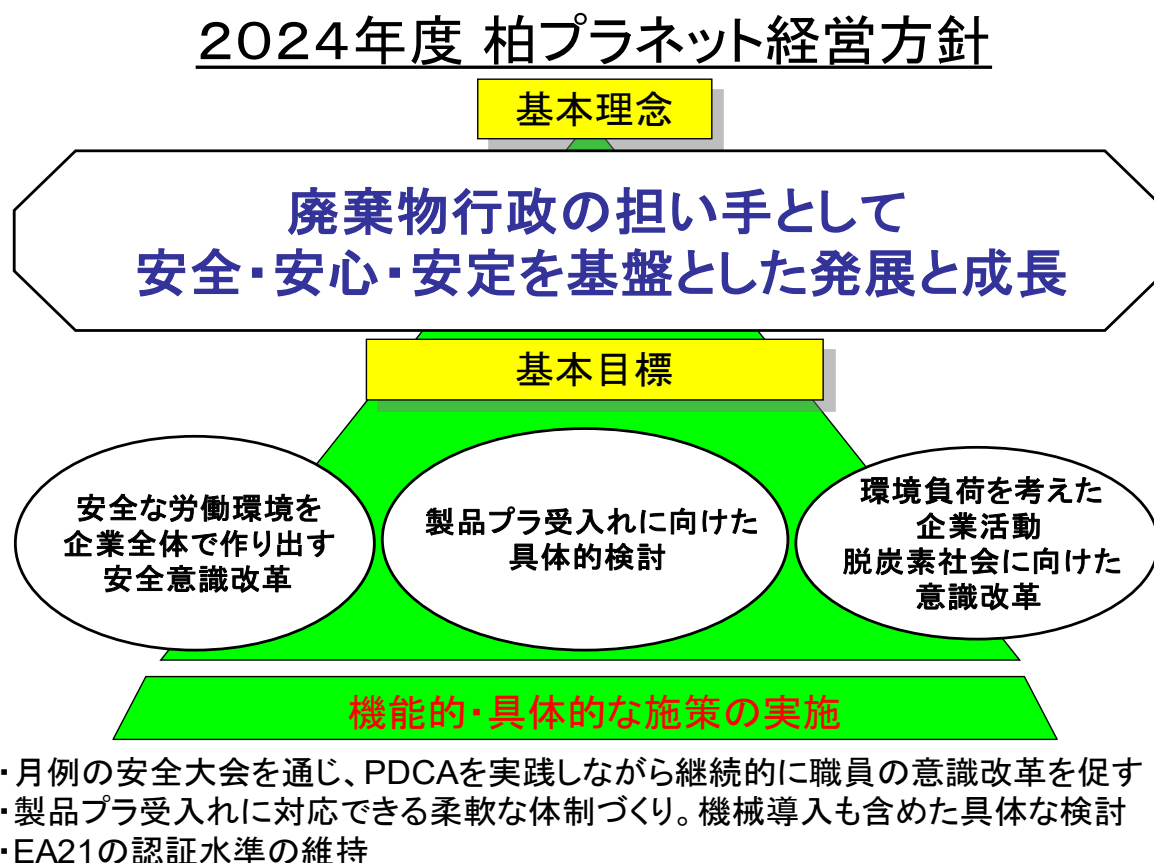
(2) 認証・登録の対象範囲

- | | |
|------------|----------------------|
| ①認証・登録番号 | 0000031 |
| ②認証・登録年月日 | 2004年11月15日 |
| ③登録証の有効期限 | 2024年8月31日 |
| ④認証・登録事業所名 | 柏プラネット(柏市廃棄物処理業協業組合) |
| ⑤対象事業所名 | 事務所・工場 |
| ⑥所在地 | 千葉県柏市新十余二7番地8 |
| ⑦事業活動内容 | 千葉県柏市新十余二7番地8 |

■3 経営における課題とチャンスの明確化

柏プラネットの経営方針は、廃棄物行政の担い手として安全・安定を基盤とした発展と成長を基本理念とし、①PDCAの実践により安全への意識を常に持ち職場全体で作り上げる労働安全衛生②効率的且つ丁寧に作り上げる高品質の容器包装プラスチック③脱炭素社会に向けた取り組みを実践し、SDGsを支援する事業展開の3項目を基本目標に掲げ各種の事業を展開しています。

《経営方針》



《課題とチャンス》

柏プラネットの事業内容は、主に行政からの委託により、家庭で廃棄物となった容器包装プラスチック類の圧縮梱包事業、発泡スチロール廃棄物の減容固化学業を行っております。

昨年度は、約4900トンの廃プラスチックを受入れ、選別加工などの中間処理を行い約4300トンを資源化し、行政、事業者のリサイクル事業の一翼を担っております。

また、ea21をつうじた脱炭素社会に向けた取り組みを実践し、SDGsを支援していくとともに、プラスチック新法の制定により、プラスチックリサイクルの対象品目が拡大されたことを受け、それらへの対応を課題とビジネスチャンスと捉え、新たなプラスチックリサイクル事業を展開していきたいと考えております。

今後も以下に示してる環境経営方針、環境経営目標を着実に実施し、当施設での環境負荷を極力低減させたプラスチックリサイクル事業を安定且つ継続的に進めていくことで、脱炭素社会を構築してまいります。

《SDGsの取り組み》

柏プラネットでは、令和4年10月に「ちばSDGsパートナー登録制度」に登録し、主に下記の11項目について重点的に取り組んでまいります。



■4 環境経営方針

< 環境経営方針 >

1. 基本理念

容器包装リサイクル法に則った容器包装プラスチック類の選別、圧縮及び梱包を担っている柏プラネットは、プラスチックのリサイクルを通して、リサイクルが環境に与える影響を認識し、環境負荷軽減並びに環境保全の促進に注力し、地球温暖化対策や資源循環型社会の構築に貢献していきます。

2. 環境経営方針

柏プラネットの環境経営システムの運営にあたっては、次の活動を自主的かつ積極的に推進していきます。

- (1) 柏プラネットの事業活動が、環境に与える影響を的確に捉え、環境に配慮した事業を推進するとともに環境経営システムの継続的改善を図ります。
- (2) 柏プラネットの事業活動に関わる環境関連法規及び柏プラネットが同意するその他の要求事項を遵守します。
- (3) 柏プラネットの事業活動を推進することにより、以下の項目を重点テーマとして取り組みます。
 - ①電力・自動車燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ②分別排出の徹底等による廃棄物排出量の削減
 - ③水資源の効率的活用による総排水量の削減
 - ④グリーン製品の購入
 - ⑤資源循環型社会への貢献
 - ⑥工場内の清潔保持
- (4) 柏プラネットの全従業員が本方針を周知し、その達成に努めます。
- (5) 本方針は、ホームページで一般に公開します。

2023年 6月 1日

代表理事

鈴木 隆

■ 5 2023年度(3カ年)環境経営目標

	環境経営目標			基準年 (2022年度)実績	単位	2023年度	2024年度	2025年度
						目標値	目標値	目標値
1	二酸化炭素排出量の削減			106,670	kg-CO2	105,603 (-1%)	104,537 (-2%)	103,470 (-3%)
		電力使用 の削減	東京電力エナジーパートナー(株)	1,923	kWh	1,904 (-1%)	1,885 (-2%)	1,865 (-3%)
			(株)まち未来製作所	250,977	kWh	248,467 (-1%)	245,957 (-2%)	243,448 (-3%)
	ガソリン使用の削減			232	ℓ	230 (-1%)	227 (-2%)	225 (-3%)
	軽油使用の削減			11,198	ℓ	11,086 (-1%)	10,974 (-2%)	10,862 (-3%)
	ガス使用の削減			189	kg	187 (-1%)	185 (-2%)	183 (-3%)
	2	廃棄物 の削減	廃棄物排出量の削減		920	kg	911 (-1%)	902 (-2%)
残渣の削減(一般廃棄物)			537,860	kg	市に分別徹底要請	市に分別徹底要請	市に分別徹底要請	
3	水使用 の削減	上水使用量の削減		505	m ³	500 (-1%)	495 (-2%)	490 (-3%)
		地下水使用量の削減		398	m ³	394 (-1%)	390 (-2%)	386 (-3%)
4	のング 推購リ 進入	エコマーク・グリーン製品、詰替可能製品の優先購入		購入促進	-	継続	継続	継続
5	環境 の保 全 推 進 活 動 等	施設内外の環境維持活動の実施		定期的な実施	-	継続	継続	継続
		行政との協同		参加・支援	-	継続	継続	継続
6	化学物質使用量の削減			PRTR制度に該当する化学物質は使用していない				

※1 基準年の排出係数は、令和3年度実績、令和5年1月24日環境省、経済産業省公表、調整後排出係数を使用。
東京電力エナジーパートナー(株)0.457kg-CO₂, (株)まち未来製作所0.302kg-CO₂。

※2 まち未来製作所の数値は、毎月の請求書使用量に毎月メーター計測の事務所分を加算したもの。

※3 化学物質を使用していないため、環境経営目標を設定していない。

■6 2023年度 環境経営計画

環境経営目標達成のため具体的な取組内容及び期限

	環境経営目標		具体の取り組み内容	期限
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	冷房28度以上、暖房20度以下の室温管理	通年
			照明灯の小まめな節電	通年
			コンセントを小まめに抜く	通年
			クールビズ、ウォームビズの実施	夏季・冬季
			照明設備のLED化	機器交換時
			空調機器の定期的なメンテナンス	年4回
		ガソリン使用の削減	エコドライブの実施 (来客者にも協力を要請、管理用車輛、通勤車輛への指導)	通年
			ノーカーデーの実施 (「徒歩」「自転車・バイク」「私用車」に区分し、通勤手段を確認)	通年
			車両点検の実施	通年
		作業車燃料(軽油)の削減	ショベルカーのアイドリングストップ実施	通年
			ユンボのアイドリングストップ実施	通年
			トラックのエコドライブ実施	通年
			ショベルカー・ユンボ・トラックの車両点検実施	通年
		ガス使用の削減	炎の出しすぎに注意	通年
			給湯器は小まめな開け閉めを	通年
2	廃棄物の削減	廃棄物排出量の削減 (リサイクル等への取組)	3Rの徹底	通年
			両面コピー・裏紙使用の徹底	通年
			コピー機使用枚数の記録	通年
			詰替え可能商品の優先購入	通年
		残渣の削減	市を通じ市民の分別排出の徹底を呼び掛ける	通年
			施設見学者に対し施設事故などを紹介しながら分別徹底の必要性を呼び掛ける	見学时
			3	水削減用の
蛇口の小まめな開け閉め	通年			
洗車、床洗浄時の節水	通年			
4	購入の推進	エコマーク・グリーンマーク製品の優先購入	エコマーク・グリーンマーク表示等のある環境配慮商品の選択	通年
			詰替え可能な商品を優先購入	通年
5	環境保全活動等	施設内外の環境維持活動の実施	施設内外の定期的な清掃の実施	通年
			随時、樹木の剪定及び最小限の薬剤散布	5, 6月
			年1回、騒音、臭気、水質などの環境測定の実施	2月
		行政との協同	施設見学者の積極的な受入れ	通年
			環境保全協定事業の推進、環境イベントへの参加、支援	通年
6	化学物質使用量の削減			

■ 7 環境経営目標に対する実績と評価

	環境経営目標		単位	2023年度		比較 (%)	評価
				目標値	実績値		
1	二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	105,603	106,641	1.0	未達
	電力使用 の削減	東京電力エナジーパートナー(株)	kWh	1,904	2,582	35.6	未達
		(株)まち未来製作所	kWh	248,467	251,530	1.2	未達
	ガソリン使用の削減		ℓ	230	232	0.9	未達
	軽油使用の削減		ℓ	11,086	11,070	-0.1	達成
	ガス使用の削減		kg	187	133	-28.9	達成
2	廃棄物 の削減	廃棄物排出量の削減	kg	911	1,010	10.9	未達
		残渣の削減(一般廃棄物)	kg	市に分別徹底要請	市に分別徹底要請	—	—
3	水使用 の削減	上水使用量の削減	m ³	500	626	25.2	未達
		地下水使用量の削減	m ³	394	18	-95.4	達成
4	のング 推購リ 進入 ↓	エコマーク・グリーンマーク製品の優先購入 詰替可能製品の優先購入	—	継続	継続	—	—
5	環 等 境 の 保 全 推 進 活 動	施設内外の環境維持活動の実施	—	継続	継続	—	—
		行政との協同	—	継続	継続	—	—
6	化学物質使用量の削減						

■8 評価に対する次年度の取り組み

	環境経営目標		次年度の取り組み
1	二酸化炭素排出量の削減		二酸化炭素の削減については、目標値に対し1%増加した。主な要因は、年々増加しているリチウム製品の選別のため稼働時間を延長したことや猛暑による冷房運転、豪雨による排水ポンプ稼働などの電力使用が増加したためであった。 次年度に向けては、熱中症対策やリチウム対策のための電力使用は、ある程度やむを得ない部分もある。今後も引き続き環境経営計画を推進していくとともに、耐用年数の経過した設備機器などは、省エネ性能の優れた機器への入替を進めていく。 また、リチウム対策としては、市民の分別徹底を市に働きかけていく。
	電力使用の削減	東京電力エナジーパートナー(株)	
		(株)まち未来製作所	
	ガソリン使用の削減		
	軽油使用の削減		
	ガス使用の削減		
2	廃棄物の削減	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物は目標値に対し約11%増加した。主な要因としては、事務所での書類整理により紙ごみが増えたことであった。次年度も引き続き、紙ごみの削減に努めるとともに、他の一般廃棄物についても分別を徹底するなどし、資源化と発生抑制に努める。
		残渣の削減(一般廃棄物)	搬入量の減少により、可燃物、不燃物などの選別残渣は対前年度比で約10%減少した。一方でPET残渣は約20%増加した。今後も引き続き市民の分別徹底を市に対し働きかけていく。
3	水使用の削減	上水使用量の削減	昨年4月に地下水の使用を中止し、水道水へ切り替えたことにより、使用量は目標値に対し約25%増加した。今後も引き続き節水対策を継続していく。
		地下水使用量の削減	上記の理由により、目標値に対し約95%減少した。次年度以降、地下水の使用は発生しない。
4	グリーン購入の推進	エコマーク・グリーン製品の優先購入 詰替可能製品の優先購入	今年度も消耗品、作業服などのエコマーク、グリーン商品を積極的に購入した。次年度も継続していく。
5	環境保全活動等の推進	施設内外の環境維持活動の実施	施設内外の清掃や除草作業は、年間を通じ定期的実施している。また2月には、例年、工場の騒音、臭気、水質などの環境調査を実施している。次年度以降もこれらの活動を継続し、施設内外の環境保全に努めていく。
		行政との協同	コロナが終息したことで、市内の町会など8団体の施設見学会を受入れた。次年度も引き続き行政と協同し、環境保全活動や廃棄物対策に取り組んでいく。
6	化学物質使用量の削減		

■9 環境負荷の状況

項目		単位	2023年度		2024年度		2025年度	
			量	CO2排出量 kg-CO2	量	CO2排出量kg -CO2	量	CO2排出量kg-CO2
エネルギー使用量	東京電力エナジーパートナー(株)	kwh	2,582	1,180				
	(株)まち未来製作所	kwh	251,530	75,962				
	ガソリン	ℓ	232	539				
	軽油	ℓ	11,070	28,561				
	LPG	kg	133	399				
	CO2合計			106,641				
受託した一般廃棄物、再生資源等の処理量等	収集運搬量	t	0					
	中間処理量	t	4,949					
	内再資源化等量	t	4,370					
	中間処理後の一廃の処分量	t	493					
一般廃棄物総排出量		kg	494,620					
産業廃棄物総排出量		kg	0					
水使用量	上水	m³	626					
	工業用水	m³	0					
	地下水	m³	18					
化学物質使用量			使用せず		使用せず		使用せず	

■10 受託した廃棄物等の処理実績

(1) 搬入内訳 2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)

項 目	搬入量 t
容器包装プラスチック	4,907
ペットボトル	3
発泡スチロール	39
計	4,949

(2) 中間処理実績 2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)

	中間処理項目	処理後の取扱い	処理量 t
再資源化量	容器包装プラスチック圧縮梱包品	容器包装リサイクル法による再商品化	4,334
	ペットボトル梱包品	再生原料 (売却)	3
	発泡スチロールインゴット品	再生原料 (売却)	33
	計		4370
残渣量	容器包装プラスチック残渣 不燃物	柏市クリーンセンターにて処理	15
	容器包装プラスチック残渣 可燃物	柏市クリーンセンターにて処理	449
	PETボトル残渣	柏市リサイクルプラザにて再処理	29
	計		493

■11 地域融和（環境活動の紹介）

柏プラネットは、「見学者への積極的な受入れ」を環境経営計画に掲げ、児童・生徒及び各地域の町会・自治会などの施設見学を積極的に受入れています。2023年度の見学者は、町会や行政関係など延べ8団体 141人でした。

また、当施設が所在する企業で設置している「十余二工業団地連絡協議会」の一員(事務局)として、工業団地内企業間の連絡調整や地元町会との会合などをつうじ地域との融和を図っています。今後、これまでコロナのためで中止していた学校、町会、行政などが開催していたイベントなどは、再開されれば積極的に参加してまいります。

■12 環境関連法規等への遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当組合に該当する環境関連法規は次のとおりです。

1、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」 2、「フロン排出抑制法」 3、「オフロード法」 4、「水質汚濁防止法」5、「振動規制法」 6、「騒音規制法」 7、「悪臭防止法」 8、「柏都市計画特定下水道条例」9、「消防法」 10、「計量法」 11、「電気事業法」 12、「労働安全衛生法」 13、「道路運送車両法」 14、「貨物自動車運送事業法」 15、「道路交通法」 16、「柏市環境保全条例」17、「家電リサイクル法」 18、「自動車リサイクル法」 19、「NOx・PM法」 20、「千葉県ディーゼル条例」21、「グリーン購入法」 22「小型家電リサイクル法」

(2) 違反、訴訟等の有無

2023年4月1日及び2024年3月31日に遵守状況について確認を行いましたが、環境関連法規への違反、訴訟は ありませんでした。

また、関係当局より違反、訴訟等の指摘はありません。

■13 代表による全体評価と見直しの結果

エコアクション21の取り組みも20年目を迎え、従業員は環境に対する意識を高く持ち日々業務にあたっております。

今年度は、工場部門での電力使用が、リチウム対策や猛暑などの影響により目標値を超えてしまい二酸化炭素の排出量も微増ではありますが目標値に対し約1トン、1%の増加となりました。増加要因については、やむを得ない部分もありますが、今後も、節電対策の継続はもとより場内設備やプラントなどの省エネ化を推進してまいりたいと考えております。

柏プラネットでは、エコアクション21に掲げた環境経営計画を着実に実施し脱炭素社会に向け取り組んでいくとともに、こうした取り組みをつうじSDGsを支援する事業を展開してまいります。



®環境省

エコアクション21

認定番号 0000031